

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月8日

【四半期会計期間】 第97期第1四半期
(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 櫻田 誠 司

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第1四半期 連結累計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	5,079,016	4,968,893	19,634,486
経常利益 (千円)	400,631	452,441	1,573,892
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	265,001	313,760	344,019
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	423,094	76,877	288,044
純資産額 (千円)	16,925,711	15,908,156	16,209,679
総資産額 (千円)	23,192,939	21,379,590	22,162,833
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	9.87	11.69	12.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	73.2	74.9	73.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しております。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注視が必要な状況であります。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向が続くなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,968百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益391百万円（同7.1%増）、経常利益452百万円（同12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は313百万円（同18.4%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、ゴールデンウィークの天候にも恵まれ、特約店向けの荷動きは好調に推移したものの、飲料、調味料など液糖の販売が減少したため、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では、販売数量の減少が響き、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高2,722百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益405百万円（同7.3%減）の減収減益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品及び低糖質素材としての評価向上や高付加価値提案の販売効果により新規採用件数は増加しましたが、大手ユーザー向け販売が伸びず、前年同期に比べ若干の増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品であるペクチン、ゼラチン及びブレンド品の販売が伸びたことにより増収となりました。

利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において、前期に減損損失を計上したことにより、減価償却費の負担が軽減され、業績が改善いたしました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高2,046百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益96百万円（同100.2%増）の増収増益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、売上高153百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益137百万円（同0.3%減）とほぼ前年同期なみの業績となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心であります。業績は売上高46百万円（前年同期比22.2%減）、営業損失13百万円（前年同期営業損失22百万円）の減収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、21,379百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ8.7%減少し、9,652百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.2%増加し、11,727百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ10.8%減少し、3,805百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1.2%減少し、1,665百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、15,908百万円となりました。これは主に時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,839,500	268,395	
単元未満株式	普通株式 12,800		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,395	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,900		2,895,900	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,373,473	2,253,328
受取手形及び売掛金	1 2,702,826	1 2,906,049
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,118,084	2,110,782
仕掛品	139,172	140,928
原材料及び貯蔵品	909,946	874,233
その他	1,035,346	1,069,019
貸倒引当金	1,964	2,081
流動資産合計	10,576,885	9,652,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	466,637	457,676
機械装置及び運搬具(純額)	116,644	124,630
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	-	46
その他(純額)	89,643	88,497
有形固定資産合計	3,200,360	3,198,285
無形固定資産		
のれん	145,853	118,855
その他	128,231	137,368
無形固定資産合計	274,084	256,224
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163,389	5,826,381
関係会社長期貸付金	1,689,800	1,689,800
その他	280,907	780,644
貸倒引当金	22,594	24,006
投資その他の資産合計	8,111,502	8,272,819
固定資産合計	11,585,948	11,727,329
資産合計	22,162,833	21,379,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,566	1,428,063
短期借入金	1,426,020	1,427,185
未払法人税等	500,264	88,392
賞与引当金	114,408	58,195
その他	765,120	803,982
流動負債合計	4,267,380	3,805,818
固定負債		
長期借入金	466,082	466,358
退職給付に係る負債	22,670	14,749
資産除去債務	66,652	66,821
その他	1,130,368	1,117,686
固定負債合計	1,685,773	1,665,616
負債合計	5,953,153	5,471,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,724,125	11,674,160
自己株式	717,126	717,126
株主資本合計	14,580,802	14,530,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727,271	1,495,789
為替換算調整勘定	41,938	35,616
退職給付に係る調整累計額	45,575	44,280
その他の包括利益累計額合計	1,723,634	1,487,125
非支配株主持分	94,757	109,808
純資産合計	16,209,679	15,908,156
負債純資産合計	22,162,833	21,379,590

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,079,016	4,968,893
売上原価	3,787,256	3,624,593
売上総利益	1,291,760	1,344,299
販売費及び一般管理費	926,367	953,057
営業利益	365,392	391,242
営業外収益		
受取利息	6,915	7,107
受取配当金	34,802	35,029
為替差益	-	4,291
持分法による投資利益	15,835	15,714
その他	11,556	5,868
営業外収益合計	69,110	68,011
営業外費用		
支払利息	8,759	5,399
為替差損	21,882	-
その他	3,230	1,412
営業外費用合計	33,872	6,812
経常利益	400,631	452,441
特別利益		
投資有価証券売却益	15,403	-
特別利益合計	15,403	-
税金等調整前四半期純利益	416,035	452,441
法人税、住民税及び事業税	121,216	97,041
法人税等調整額	35,029	43,937
法人税等合計	156,245	140,979
四半期純利益	259,789	311,462
非支配株主に帰属する四半期純損失()	5,211	2,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,001	313,760

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	259,789	311,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160,706	231,482
為替換算調整勘定	1,317	4,398
退職給付に係る調整額	1,281	1,295
その他の包括利益合計	163,305	234,584
四半期包括利益	423,094	76,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,324	79,520
非支配株主に係る四半期包括利益	4,230	2,643

【注記事項】

(会計方針の変更)

(IFRS 第16号「リース」)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産「その他(純額)」が944千円増加し、流動負債の「その他」が20,860千円及び固定負債の「その他」が58,288千円増加しております。当第1四半期連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68,350千円減少しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 期末日満期日手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	765千円	2,229千円

2 偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
太平洋製糖㈱	387,500千円	375,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	81,652千円	29,000千円
のれんの償却額	26,997千円	26,997千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月21日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月20日 取締役会	普通株式	295,374	11.00	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,878,438	1,987,388	153,745	59,444	5,079,016		5,079,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,541	681	944	4,611	7,778	7,778	
計	2,879,980	1,988,069	154,689	64,055	5,086,795	7,778	5,079,016
セグメント利益 又は損失()	437,046	47,991	138,351	22,413	600,977	235,584	365,392

(注) 1 セグメント利益の調整額 235,584千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,722,886	2,046,126	153,603	46,276	4,968,893		4,968,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,630		1,461	4,908	8,000	8,000	
計	2,724,517	2,046,126	155,065	51,185	4,976,894	8,000	4,968,893
セグメント利益 又は損失()	405,126	96,088	137,925	13,431	625,708	234,466	391,242

(注) 1 セグメント利益の調整額 234,466千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9.87円	11.69円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	265,001	313,760
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	265,001	313,760
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

2019年5月20日開催の取締役会において、2019年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり
期末配当を行うことを決議しました。

配当金の総額	295,374千円
1株当たりの金額	11円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年6月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月 7日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大	中	康	宏
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	箕	輪	恵	美子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。